

「夏の^{デジタル}Digi田甲子園」岩手県代表の選出について

【発表の要旨】

岸田総理の看板政策の一つとして本年6月7日に閣議決定された、デジタル田園都市国家構想基本方針の実現に資するため、「夏の^{デジタル}Digi田甲子園」が開催されています。

本市が昨年から取り組んでいる「八幡平市メディテックバレープロジェクト」が「実装部門：市」における県代表に選出され、7月12日から8月15日までを期間としてインターネット投票が行われております。広く県民の皆さまに岩手県代表への応援をお願いいたします。

なお本事例は、岸田総理を座長とする第5回デジタル田園都市国家構想実現会議の席上で、過疎地の特徴的な取り組みとして紹介させていただいております。

1 夏の^{デジタル}Digi田甲子園について

地方公共団体を対象として、デジタル技術の活用により地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取り組みを総理が表彰するものです。各都道府県の地区予選を突破した総勢 159 事例を対象にインターネット投票が行われ、この結果を受けて最終的に有識者会議にて各部門の優勝が決定されます。

4つの部門（①実装部門：指定都市・中核市、②実装部門：市、③実装部門：町村、④アイデア部門）ごとの特に優れた事例・アイデアについて顕彰し、他地域への横展開を進めようというもの。優勝者には首相官邸で岸田総理から表彰状が伝達される予定です。

2 八幡平市メディテックバレープロジェクトについて

市販の安価なスマートウォッチを用いて、遠隔診療と見守りを同時に実現するソフトウェア「Hachi」を地域に実装することで、常勤医師が不在となった診療所を持続可能に変革。これらを市の起業家育成プログラム「スパルタキャンプ」を通じて育てた人材が中心となって開発し、都市部の大企業に頼ることなく地域課題の解決を地場のベンチャーが実現することで、次世代の成長産業を創出しようという取り組みです。

3 投票方法

インターネットから下記アドレスへアクセスして「実装部門（市＜指定都市・中核市・施行時特例市等＞を除く）」から、「03 八幡平市メディテックバレープロジェクト」を選択して、投票ください。

○夏のDigi田甲子園

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/koushien.html

○投票締め切り 8月15日（月）

【担当】

商工観光課 企業立地推進係

課長補佐 中軽米真人

電話 0195-74-2111（内線 1315）